

府中市都市整備部
計画課 御中

意見書

「令和6年度 第1回府中市移動等円滑化促進方針等推進協議会」について、下記のとおり意見提出いたします。

記

【まち歩きワークショップについて】

実施報告、とても分かりやすくまとめてあり、実際の様子や課題点などが具体的に理解できました。前回会議で副会長が発言されていましたが、アンケートや意見交換会も含めてまち歩きワークショップについての実施報告も基本方針策定の根拠のひとつですので、巻末参考資料としてでも追加していただきたいと思います。

【審議事項：事業種別のバリアフリー方針への意見】

1. 全項目に共通しますが、トイレの項目にある「利用者に配慮した車椅子使用者用トイレを設置する」というのは現在、駅や建物、公園に設置されている「バリアフリートイレ（多目的トイレ）」とは別に車椅子利用者専用のトイレを新規に設置するということでしょうか？
現在のバリアフリートイレは車椅子利用者はもちろんですが、大人の介助が必要な方、介助犬と一緒に利用する方やオストメイトの方、乳幼児連れや保護者とは違う性の子どもの介助のために利用する方など多くの方々が利用しています。その割に大抵ひとつしかなくて利用できない場面も多々あり課題となっていると思うので、もし「車椅子利用者専用トイレの設置」ということならば、配慮事項として各事業のトイレ項目に「バリアフリートイレの整備・拡充」的なものを入れていただきたいです。
なお、専用ではないのなら「車椅子利用者専用」ではなく「バリアフリートイレ」と変更していただきたいです。
2. 建物の駐輪場について現在ラック式の駐輪場が多く、子供乗せ電動自転車が駐輪でいないところがあります。通常の自転車と違いタイヤが太い、車体が大きく重い等停められるスペースに制限がありますので、可能であれば幅広い車種の自転車を停められるような配慮について言及していただきたいです。

3. 公共交通について、駅のホームにベビーカースペースおよび車椅子スペースの位置情報を掲示してほしいです。また、女性専用車両には小学生以下の男の子、お身体の不自由な方とその介助者の男性も利用できる案内を分かりやすく掲示してほしいです。
4. 道路について、特にスクールゾーンに該当する道路については、背の低い子どもの身長を踏まえて車からの死角にならないような街路樹の剪定、看板の設置など配慮をお願いします。また歩道のない道路ではわかりやすく白線を引くなどしてほしいです。
5. 特に公園について、情報・案内バリアフリーの「知的障害者等にも認識しやすいデザイン」⇒「年齢や障害の有無に関わらず、あらゆる人が認識しやすいデザイン」への変更は可能でしょうか？また、バリアフリー情報や案内だけでなく、緊急時や困った時の連絡先の掲示もほしいです。公園は特に子どもだけで過ごすエリアになるので、「子ども」も配慮事項の対象であることが明確に分かるような記載を希望します。

以上

令和6年5月22日

特定非営利活動法人ママチャリース

成川 綾